



5年生稲刈りがありました

8日(火)に5年生が稲刈りを行いました。この日は太陽が雲に隠れる時間が多く、気持ちの良い天候の中で行うことができました。6月初めに田植えをしておよそ4か月間で、稲が順調に実り、5年生94名が手分けしてもすべて刈り取れないほどたくさん実っていました。4つのグループに分かれ、「刈り取り」、「麻ひもで束ねる」、「運搬」、「はざかけ」の作業を交代で行いました。子どもたちは、たんぽぽボランティアの方の説明をよく聞いて作業を始めました。はじめは慣れない様子が見られましたが、だんだん手際よくできるようになっていきました。



収穫したお米は、来年度の野外教育活動の夕食のカレーライスづくりなどに使う予定です。しろかき、田植え、稲刈りとこれまで体験し、今度は脱穀を体験します。これらの体験を通して、お米作りにはどんな仕事があって、その仕事がいかに手間がかかるのかなど身をもって学ぶことができたと思います。田の準備から、水の管理、稲の管理など収穫できるまで、ボランティアの方がお世話をしてくださいました。ボランティアの皆様、ありがとうございました。

(稲刈りの振り返り：3組児童)

- ・稲刈りをして、とっても大変でした。稲の高さぐらいにこしを落とさないといけなかったので、こしがいたくなりました。稲がすばって切れた時は、とてもうれしかったです。稲をしばるときは、稲が手にささっていたかったです。これを毎年やっている人のことをとてもすごいと思いました。
- ・手で稲刈りするのは、大変だったけど、ボランティアさんたちがいいに教えてくれたり、お手本を見せてくれたので、上手にできました。刈った稲をひもで結ぶのは、とても難しく、他の人がやっているのを見て、自分なりに工夫しました。棒に稲をかけるときは、なるべくたくさんかけられるように工夫しました。
- ・稲刈りを体験して思ったことがあります。それは、手で刈る稲刈りと機械で刈る稲刈りの違いです。手で刈る方は一つ一つ手で刈るので時間がかかるし、刈った稲を手でしばる作業もあるので、とても大変です。でも機械で刈る方は、稲を刈る作業と稲をしばる作業を同時にできるので、とても便利だなと思いました。大変なこの作業を農家の人はいつもやっていると思うと、とてもすごいと思いました。
- ・かまの使い方から教えてもらいました。切るところは下から5cmぐらいのところを切ると教えてくれました。実際にやったらそんなに上手に5cmぐらいのところには、切れませんでした。でもだんだん上手に切れるようになりました。棒にかけるとは思い切り前後に開くことを意識しました。たばねるのは、2回くるくるしてリボン結びでしばることを教えてもらいました。そうすると全然とれなくてすごいなと思いました。ボランティアさんたちがいろいろ教えてくれたので、上手に稲刈りができて、よい機会になりました。

ボランティアの皆様いつもありがとうございます。

たんぽぽボランティアの皆様以外にも、先週は、多くのボランティアの皆様が来校し、八南小の子どものために力をかしてくださいました。ありがとうございました。



○4年白川の学習(10/9・11)



○家庭科ミシンの学習(10/9・11)



○あいさつ運動(10/10)

(～お知らせ～)

下校時刻については、現在HP(ホームページ)と一部の学年の学年通信でお知らせしています。学年通信に下校時刻を載せる場合は、元になっている予定表を見ながら入力していましたが、これまで入力ミスにより、HPの時刻と学年通信の時刻が異なっていることがあり、ご迷惑をおかけすることがありました。そこで、今後は**学年通信には下校時刻は載せず**、HPに出している**月予定を学びポケットで配信します**ので、そちらでご確認ください。